

I C Tで未来を創る私の仕事

最新の I C Tを駆使して地域を支える
～挑戦し続ける大切さ～

エスジー・スタッフ株式会社 (IT 部門) 若月 亮さん
インタビュアー 津田塾大学 3年 勝俣 悠

高校時代は美術系に興味があったという若月亮さん。プロジェクションマッピングに出会ったことでその仕組みに興味を持ち、プログラミングの勉強を始めたという若月さんに、今回は IT 部門でのお仕事についてお話を伺いました。

勝俣 本日はよろしくお願いします。

早速ですが、エスジー・スタッフは主にどのような業務を行っている会社なのでしょうか？

若月 新発田ガスグループとして、ガス器具の保安業務、ガスメーターを確認していく検針業務、I T業務の3つが主な業務内容です。



若月 亮さん

勝俣 それでは、若月さんが所属している I T部門とはどのようなお仕事を行っているのでしょうか？

若月 私のいる I T部門では、企業さんや官公庁さんとやりとりを行い、パソコンなどの I T関連機器の導入や取り扱い、メンテナンスなどが主な仕事になります。時々、光回線の設備や工事も行っています。新しい取り組みとしては、A Iを活用した顔認証のシステムや検知のシステムにも着手して、幅を広げつつ事業を展開しています。

勝俣 業務を行う際に、お客様の信頼が大事になってくると思うのですが、信頼を得るために心がけていることは何ですか？

若月 信頼を得るために、セキュリティ面で言いますと、世界的にシェアの高い U T M製品である FortiGate や Sophos Firewall 等を利用して、セキュリティを担保できる体制を整えています。それに加えて、定期的なメンテナンスを行っています。遠隔で操作できるものもありますが、現地で直接お話を聞かないと困っていることがつかめないので、コミュニケーションを大事にしながら相談一つ一つについて丁寧に対応しています。



勝俣 若月さんの行っているお仕事の魅力を教えていただきたいです。

若月 規模が大きいところだと、今まで扱ったことのない製品や技術にふれ、それらを習得できるところが魅力だと思います。私のメインである、ネットワークに関わる部門では、大きな仕事ですと、一般企業さんや官公庁さんのネットワーク基盤を扱います。一瞬でも止まってしまうと数百人、数千人のインターネットが繋がらなくなるような作業なので、気を張っていないといけない点で大変ではありますが、初めての経験が多くできる点は魅力の一つだと思います。小さな規模で言いますと、お客様から頼っていただけることや感謝していただけることで、自分の自信に繋がられる点が魅力だと思います。



お仕事風景

勝俣 大学ではどのようなことを学んでいたのですか？

若月 大学では、今とは少し異なる分野の電子回路やマイコンの勉強をしていました。例えばですが、LEDが一秒ごとに点滅するプログラムを作るところからスタートして、最終的に全自動で動く機械を他の学科と合同で製作するというようなことをしていました。

このようなプログラムをやっているうちにネットワークについての勉強を始め、現在ネットワーク関係の仕事についています。

勝俣 今まで行った仕事の中で大変だったことは何ですか？

若月 去年の事業が最も大変でした。防災と少し絡んでいて、Jアラートの受信機に関わるネットワーク機器の更新の仕事をしたのですが、工期が2か月ほどしかなく、短い工期の中での進め方に苦労しました。さらに、場所が離島だったので、天候によって船が出せないこともあるので、離島特有の問題を考慮しなければいけない点で非常に苦労しました。

勝俣 今後、ご自身で挑戦していきたいことや、描いている未来像を教えてください。



若月 事業に活用できるような資格取得に挑戦していきたいです。例えば、ドローンにはカメラが搭載されているので、わざわざ現地まで足を運ばなくとも電線の様子を空から撮影することができます。今は何に役に立つかわからないけれども、将来的に課題解決のために応用が利くような分野は身につけていきたいです。

勝俣 最後に、ICT関係の仕事に興味を持っている学生に向けてメッセージをお願いします。



お仕事風景

若月 ICTというのは、新しい技術や概念が毎日のように出てくるものであり、その全てを学ぶというのは難しいことだと思いますが、そういった新しい技術や概念に常にチャレンジを求められる業種だと思います。その中で自分の得意なこと、好きなことが見つけられると自分の武器になると思うので、遠慮せずに踏み込んでみると、意外と面白かったりすると思います。最初に何かに挑戦するには怖さを感じたり、尻込みしてしまうこともあると思いますが、手を出してみると意外と楽しい、面白いとを感じるかもしれないので、ぜひ積極的にチャレンジしてみてください。

令和8年9月2日インタビュー

※社名、所属等はインタビュー時現在です。

企画・制作：新潟県知事政策局 ICT推進課・新潟県 ICT推進協議会

